

▼別ショットの写真



当日はまだ少し気温が低かったのですが、子どもたちは元気いっぱい笑顔いっぱいでした。今年の初プールを楽しんでいました。

今月の表紙は、6月25日に深溝保育園で行われたプール開きでの1枚です。

今月の表紙

みんなの
広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

日舞サークル「花水木」



サークル紹介初登場の花水木です。前身の翠禮会から続いて日舞を楽しんでいます。

平成5年4月に芦谷コミュニティセンターの竣工を機に、当時公民館長であられました黒柳久治先生が「立派なこの会場を使ってくれよ」とのお話に日舞サークルを立ち上げたのが最初でした。

きれいな会場でお稽古が出来る幸せを感じ、幸田町ってすばらしい町だなと感じた瞬間を思い出しました。

使った後は使う前よりもきれいに

をモットーに22年過ぎた今も、とてもきれいな会場です。月2回渡辺先生のご指導をいただき、また、月2回の自習で和気あいあいの中、友達との和と絆を大切に11月の文化祭に向けて只今特訓中です。私たち花水木ならではの踊り群舞のすばらしさを、お見せできるようにと練習に励んでいます。

どうぞ文化祭を見に来てくださいね。お待ちしております。

花水木 代表 ^{かしまつ} 笠松カツ子 ☎62-0823

サークル紹介

この指とーまれ

149

みんなの作品展!

幸田文化協会春の文化展「全国和紙ちぎり絵」からのセレクトです。



さの ゆりこ さん
佐野百合子 さん



みうらひさえ さん
三浦久江 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今日の記念日

8月10日は「健康ハートの日」

1985年に日本心臓財団は、高齢化が進むにつれて増える心臓病に対応するには、国民の予防意識の向上が不可欠であると考へ、8月10日がハート810と読み取れることから、覚えやすいように語呂合わせでこの日を「健康ハートの日」と決めました。

これまでの「心臓病・脳卒中」病気の予防というイメージから、「健康ハート」をつくるという明るいプラスのイメージで、この日を中心に新しい国民運動を展開しようとしたものです。

心臓病の危険因子には高血圧、高脂血症、肥満、糖尿病、喫煙などがありますが、これらの危険因子を軽減するには日常生活(ライフスタイル)を見直すことが大切です。

「健康ハートの日」はこうした生活習慣を見直し、血圧などをチェックすることで、暑い夏の日を「こころとからだの休日」となるよう願ったものです。

記念日には、心臓病への理解を深めるためのイベントが毎年開催され、講演会などが行われています。

* 参考資料：日本心臓財団 <http://www.jhf.or.jp/>



青春トークリレー
第269走者

すぎうら ゆうみ
杉浦 有美 さん

須美区在住 19歳 職業 学生
身長 164cm 血液型 B型
好きなタイプ 秘密
好きな芸能人 □ーラ

みなさん、こんにちは。私は大学で心理学を専攻し勉強しています。

人の心は、とても曖昧なものですが、そのような心の動きを様々な視点から研究する事によって、今まで知る事ができなかった事を多く学習でき、とても楽しく、興味深く学んでいます。

また、自分に対する理解も深まり、人とのコミュニケーションにも役立つので、とてもよい刺激を受けています。

将来は大学で学んだ事を生かしつつ、今までお世話になった方々に感謝し、地域の皆さまに役立つ仕事に就けたらよいと思います！



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



環境だより VOL.32

目指せエコ名人！

6月9、10日の2日間にわたり、幸田小学校で環境学習講座が開催されました。

環境カウンセラーの浅野智恵美さんを講師に、4年生4クラスの生徒が「エコライフすごろく」に取り組みました。サイコロを振って駒を進め、止まった箇所書いてあるエコに関するメッセージについて、クラスの皆で意見を出し合いました。皆積極的に手を挙げ、具体的なごみ減量方法や、すでにおうちで実践している省エネ対策など、次々とエコについての意見が出されました。

最後に浅野さんから、リデュース（ごみを減らす）、リユース（一度利用したものをもう一度使う）、リサイクル（いらなくなった物を他の製品に作りかえて利用する）という「3R」という言葉を教えてもらいました。浅野さんは「今日の授業をきっかけに、自分たちができるエコ行動につなげてくれたらうれしいです。」と話してくれました。



▲元気いっぱい！楽しい授業でした。

さて、話は変わりました。先口、保育園に取材でお邪魔した際の出来事。取材が終わわりちようど給食の時間になりました。一人の園児が「給食食べてくくの？」と声をかけてきたので、「給食は食べないよ」と返事をすると、「ちがう保育園なんだね」と言われました。うーん、さすがに保育園児とは間違えようがないし、よくわからないけど、思わず笑顔になる保育園での取材活動でした。(K)

編集者の
ひらひら

ダイエットのライバルSくんが1か月で6kgやせた姿に衝撃を受けて、ショックで2kgやせた編集者のKです。

今月号の取材では、子ども会のドッジボール大会に行ってきました。自分が小学生時代をやっていた遊びのドッジボールとは大違いで、個人でバラバラに動くのではなく、チームプレーで行うスポーツ競技になっていました。

優勝を喜ぶチームがあり、敗れて悔し涙を流すチームの姿がありました。本気で勝ちたいと思って取り組んできたからこそ流れる悔し涙。強い相手と競い合い、自ら考え工夫する過程で得られる自分自身の成長。勝ち負けだけではない価値がそこにある。と、何だかテニスのS造さんみたいになってしまいました。が、何事も本気で取り組む姿はカッコいいですね。